

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）				単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）									
指標名	市民一斉クリーン作戦の実施	目標値	回		1	1	1	1	
		実績(見込)値		1	1				
		目標値							
		実績(見込)値							
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）									
指標名	可燃、不燃ごみ等及びアルミ、スチール缶の当日回収	目標値	回		1	1	1	1	
		実績(見込)値		1	1	1	1	1	
		達成率		100.0 %	100.0 %				
		目標値							
		実績(見込)値							
		達成率	%	%					
5. 事業評価									
(1) 平成27年度の行政評価結果をうけて、平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。									
(2) 項目別評価									
評価項目・客観的評価				理由					
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	環境衛生の向上のため必要な事業であり、また「関東地方環境美化運動の日」として、全県的に同内容の事業が行われている。					
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である	市環境衛生協議会との共催で実施しており、市民の協力も得られている。					
	手段の妥当性	A	妥当である	全国的に行われている事業であり、一般的である					
効率性	コスト効率 人員効率	A	改善の余地はない	多くの市民の協力があり、低コストで効果が挙げられている。					
公平性	受益者の偏り	A	偏りは見られない	地域環境衛生の向上は、全市民が望むものであり、偏りは見られない。					
有効性	成果の向上	A	上がっている	一定の成果が得られている。					
進捗度	事業の進捗	A	順調である	一定成果が得られている。					
(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。									
クリーン作戦は30年以上の実績があり、多くの市民が参加協力しており、市環境衛生協議会の協力もあり特に問題のない事業である。									
(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？									
クリーン作戦は、今後も市環境衛生協議会と共催し、協議会の意見を聞きながら実施していく。									
6. 事業の方向性判断									
評価主体	28年度以降の事業の方向性			評価理由・根拠					
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う	現状のまま継続 (改善・改革なし)			注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。					
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う	現状のまま継続 (改善・改革なし)			市環境衛生協議会の意見を聞きながら、地域の環境衛生の向上が図れるよう実施する。					
(3) 最終評価 企画調整会議において 評価を行う				上記評価のとおり。					